

## 「家庭の教育力の向上」のために、「今できること」 No. 1

今回のテーマ 「今の家庭の教育力の現状を把握する」

令和時代に入り、社会も大きく変化し、「人生100年時代」と言われるようになりました。現在の社会では、●少子高齢化 ●核家族化 ●地域における地縁的なつながりの希薄化 ●ライフスタイル変化 ●価値観の多様化 ●スマホ社会 ●コロナ禍による社会変化



など、様々な場面で社会の変化により、学校教育や家庭教育の在り方が変化し、特に、家庭における教育力の低下を危惧する声が上がっています。ここ北方町においても、時代の変化の波が訪れています。

そこで、「家庭の教育力の向上」に少しでも力になりたいと考え、「今できること」と題しまして、先生方、保護者の皆様へ情報を発信していきます。

今回は、2つの項目についてお話しします。

1. 家庭の教育力が低回していると実感したことがありますか？

**A: 約 7 割の親が家庭の教育力が低下していると実感している。**

2. 家庭の教育力が低下している理由をお聞かせください。

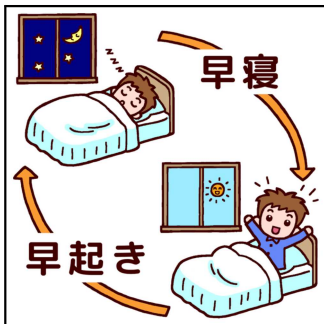
第 1 位：66.7%⇒子供に対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加

第 2 位：50.6%⇒テレビ、映画、雑誌などが子供に及ぼしている悪い影響

第 3 位：47.1%⇒子供に対するしつけや教育の仕方が分からない親の増加

第 4 位：44.4%⇒子供に対するしつけや教育に無関心な親の増加

第 5 位：35.8%⇒父親の存在感の低下



上記の内容を読んで頂き、どのような感想を持たれたでしょうか？

上記のデータは、平成 13 年度の文部科学省によるものです。ここで、皆さんにお伝えしたい「家庭の教育力」を重要性は、

1. 社会の変化のスピードが速いということは、1つの企業に終身雇用性が崩壊する可能性があります。そこで、「学び続ける力」「生涯学習を続ける習慣を身につける」ことが重要になってきます。

2. 今後「学力格差」が大きくなると予想されます。学力向上に必要な力は、「就学前までの子育て」「小学校・中学校の基礎的・基本的な学力」「基本的な躰」が基盤です。

※ 上記の 1. 2 を中心に「家庭の教育力の向上」についてお伝えしていきます。